

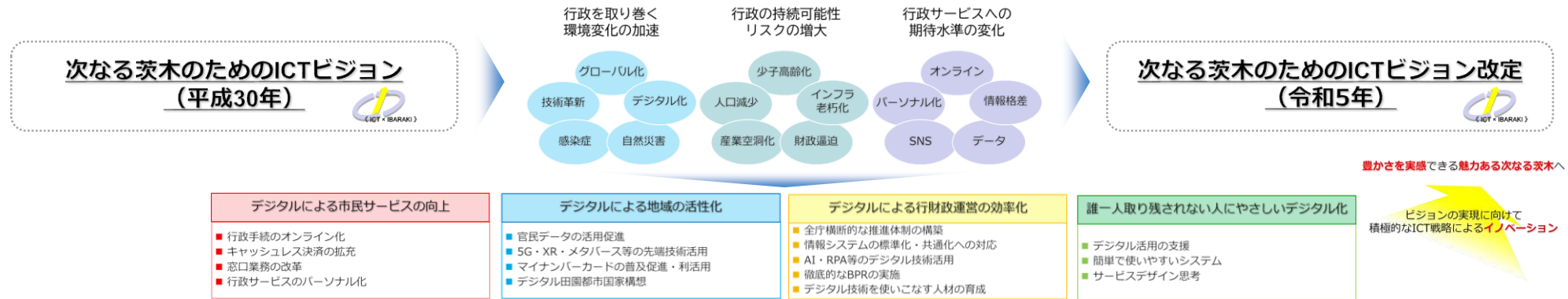
次なる茨木のためのICTビジョン改定版【概要】（令和7年（2025年）4月改定）

～ デジタルにより豊かさを実感できる魅力ある次なる茨木へ ～



ICTビジョン改定の趣旨

- 茨木市では、平成30年（2018年）2月に、「次なる茨木市のためICTビジョン」を策定し、「豊かさを実感できる魅力ある次なる茨木」の実現に向けて、積極的なICT戦略による茨木市のイノベーションを目指してきた。
- 国のデジタル政策の強化、社会のデジタル化の進展、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う新しい生活様式など、ICTビジョンの策定後に起きた本市を取り巻く環境の変化などを踏まえ、さらにイノベーションを加速させていくため、ICTビジョン改定版を策定



豊かさを実感できる魅力ある次なる茨木へ

ビジョンの実現に向けて積極的なICT戦略によるイノベーション

3つの視点

- サービスデザイン ～利用者の視点～
- トライアンドエラー ～OODAループの視点～
- データ利活用 ～デジタル前提の視点～

今までの業務のやり方を単純にデジタル技術で代替するのではなく、時代の変化に対して柔軟に対応できるよう、常に業務を見直し、徹底した市民目線で業務を再構築

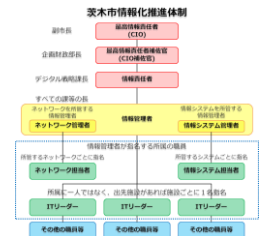
推進体制

ICTビジョンの推進体制は、茨木市高度情報化の推進に関する規則に基づき、情報化を推進

（参考）

- 茨木市高度情報化の推進に関する規則の改正（令和5年4月1日付改正）

- ① 最高情報責任者の規定を新設
- ② 情報化統括責任者を最高情報責任者補佐官に改正



ICTビジョン基本方針

“ゼロをプラス”に導く積極的なICT戦略による

茨木市のイノベーションをめざします。

デジタル技術の利活用による新たなサービスの創出に取り組むとともに、人ではできない、独創的な仕事等を充実・深化させることで、ICTビジョンの目的である、「豊かさを実感できる魅力ある次なる茨木」の実現に向けて、引き続き、基本方針を継続

ICTビジョンの進め方

- ICTビジョンの4つデザイン実現のため、特にDXに関する取組を重点的に実施
- 時代の変化に合わせた新しい取組を柔軟に実施

次なる茨木のためのICTビジョン

Design:1 デジタル・ガバメントによる行政サービス改革

Design:2 データ流通と利活用による超スマート社会の実現

Design:3 さらなるICT化による行政経営改革

Design:4 マネジメントの充実によるICT戦略のスパイラルアップ

令和5年(2023)4月
【茨木市高度情報化に関する規則】

次なる茨木DX

重点的取組分野

- 次なるDX ① 行かなくてもいい市役所
ICTの徹底活用により、時間や場所にとわれない行政手続きを実現します。
- 次なるDX ② 暮らしのデジタル化
子ども一人ひとりに合わせた教育環境の実現や、平時にも災害時にもICTを活用した防災を推進します。
- 次なるDX ③ スマート行政推進
*e-Gov会議、e-Gov取組など、職員の仕事もデジタルに変わることで業務の効率化を進め、市民サービスをさらに向上させます。

推進体感への配慮
DX推進にあたっては、ICT活用による業務の効率化だけでなく、市民サービスの向上も目指していきます。